



「岩手×東京 花の絆プロジェクト」  
 ～“被災地のいま”を情報発信しました～



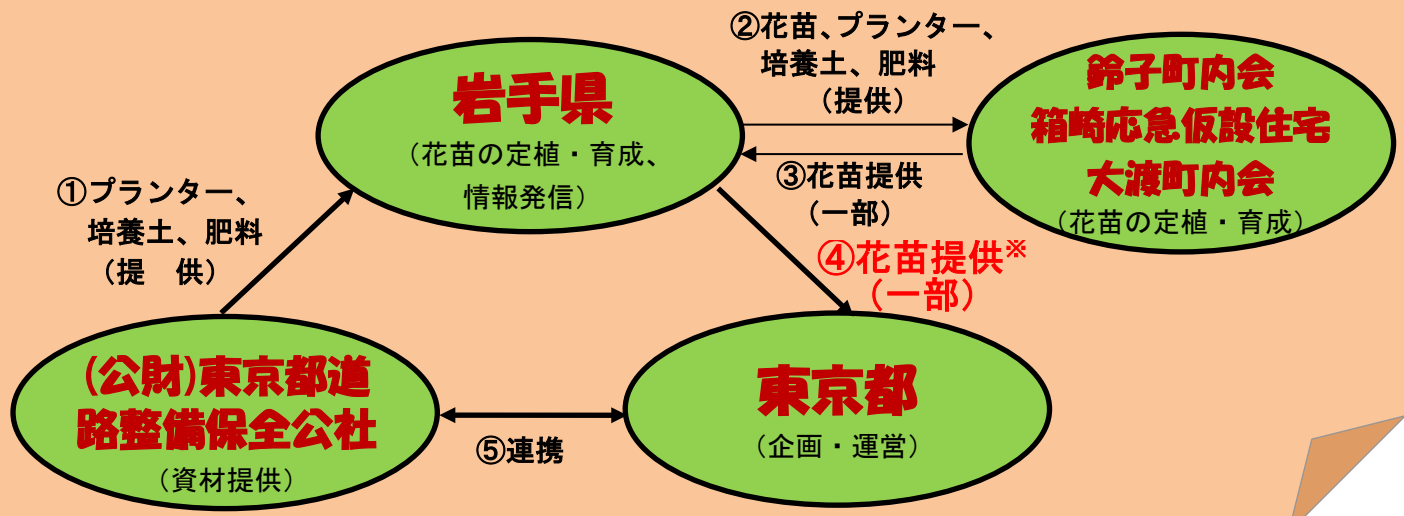
沿岸広域振興局土木部

東京都内のイベントにおいて、全国からの“復興支援に対し感謝を伝える”とともに、復興を加速化させるために必要な“継続した支援”を受けられるように“被災地のいま”を情報発信しました。

1. 復興支援に感謝を込めて・・・『岩手×東京 花の絆プロジェクト』

本プロジェクトは、全国からの“復興支援に対し感謝を伝える”とともに、今後の復興を加速化させるために必要な“継続した支援”を受けられるように“被災地のいま”を情報発信し、“復興への理解を得る”ことを目的としたプロジェクトです。

東京都及び(公財)東京都道路整備保全公社と連携し、岩手、東京双方から復興を情報発信しています。(公財)東京都道路整備保全公社からプランターや培養土、肥料などの園芸資材の提供を受け、岩手県が用意した花苗を、鈴子町内会、箱崎応急仮設住宅、大渡町内会、沿岸広域振興局で育成しています。育成した花苗の一部(※下図④)は、復興支援に感謝を伝えるため、東京都に提供し、都内のイベント(下記2. 3.)や東京都庁前花壇等に展示されています。



【定植後】色とりどりの花々で明るく♪

【定植前】

さびしげだった仮設住宅や街並みが・・・



## 2. 平成26年8月8日『被災地で育てられた花の定植イベント』

定植した花苗は、岩手県釜石市内の町内会や仮設住宅にお住まいのみなさんが復興支援への感謝を込めて育成した花苗で、東京都に提供したものです。

参加者のみなさんは、被災地の一日も早い復興を願いながら花苗をプランターに定植し、被災地へ向けての温かいメッセージを届けていただきました。



定植作業

### ◆【被災地へ向けてのメッセージ（一部）】

- ・ 東京の人と東北の人がつながって笑顔になりますように。
- ・ 花と笑顔があふれる町に戻る日まで。心をひとつに。
- ・ みんなが笑顔になりますように！！



集合写真



被災地に向けたメッセージ

### ※『被災地で育てられた花の定植イベント』の概要

- ・ 主催：東京都・(公財)東京都道路整備保全公社
- ・ 場所：東京都庁前（新宿副都心4号線歩道）
- ・ 目的：潤いのある道路空間の創出と東北被災地域の復興を促進し、地域間交流を深めることを目的に実施している「道で咲かせよう東北の花～都庁舎前花壇育成プロジェクト～」の活動PRと、プロジェクト連携の輪を広げ、都民と被災地の連携意識の向上を図ること。
- ・ 参加者：都内在住の小学生とその保護者30組
- ・ 実施内容：①参加者が被災地で育てた花苗をプランターに定植  
②被災地への思いなどのメッセージをボードに書き込み、プランターに設置する

## 3. 平成26年8月21日～22日『夢のみち2014』イベント

イベントでは、復興支援への感謝を込めて被災地で育成した花苗を展示するとともに、被災地から復興支援への感謝の気持ちや被災地も元気に頑張っていることなど、被災地の思いも届けました。

来場者のみなさんから、「今こそ力をひとつに！！頑張ろう」、「思いはつながっています。東北と新宿で

「頑張りましょう」など、被災地への温かいメッセージをたくさんいただきました。

◆【被災地から全国に向けてのメッセージ（一部）】

- ・被災地に心寄せ人々が住む東京を思い、大事に花を育てました。感謝します。
- ・まだまだ復興はしていません。震災を風化させないためにも、このような活動が大切だと思います。東京都のみなさん、ありがとうございました。
- ・大震災から、もう3年まだ3年、個人で感じは異なりますが、徐々に記憶から薄れがちの中で「花の絆」の企画を心から感謝申し上げます。

復興支援への感謝を込めて  
被災地で育成した花苗



来場者のみなさんからの被災地へ向けての温かいメッセージ

※『夢のみち2014』イベントの概要

- ・主催・共催：（公財）東京都道路整備保全公社・東京都建設局
- ・場所：新宿駅西口広場イベントコーナー
- ・目的：道とふれあい、道に親しみをもち、道が日々の生活に身近な施設であることを都民に実感してもらうこと。
- ・来場者数：約 17,000 人
- ・実施内容：来場者に、楽しみながら道やテーマ（「みち」が育てる地域と絆～みんなのやさしい道づくり～）を実感してもらう。
  - ①ソーラーカーやオートバイの展示
  - ②被災地と連携した潤いのある道路空間創出の取り組み
  - ③防災科学実験ショー
  - ④きらきら安全キーホルダー工作などのワークショップ

4. 平成26年9月9日『夢のみち2014』フォーラム

フォーラムでは、多くの方々が応急仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされていること、復興はまだ道

半ばであること、「被災された一人ひとりの復興」のためには、**全国からの継続した支援が必要**なことを発表してきました。

来場者のみなさんから、「被災地支援について再考する機会になった」、「岩手県に行ってみたいと思った」など、被災地について改めて考える機会になったとのご意見が多く、寄せられました。



“被災地のいま”を発表しました



多くの方々に聴いていただきました

※『夢のみち2014』フォーラムの概要

- ・主催・共催：(公財)東京都道路整備保全公社・東京都建設局
- ・場所：東京都議会議事堂 1階「都民ホール」
- ・目的：都内で地域貢献活動を行うボランティア団体等の相互交流や連携を深めること。
- ・参加者：都内でボランティア活動を行う団体や道路功労者表彰受賞者
- ・実施内容：①道路功労者表彰式  
②ボランティア団体等活動発表  
③北野大氏(淑徳大学教授)講演「安全・安心な社会を目指して」

◆岩手県内の活動団体◆

本プロジェクトで提供した花苗を展示している  
東京都庁第一本庁舎前花壇

①釜石市鈴子町内会



②箱崎仮設花の会(応急仮設住宅)



③釜石市大渡町内会



④岩手県沿岸広域振興局

